

学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

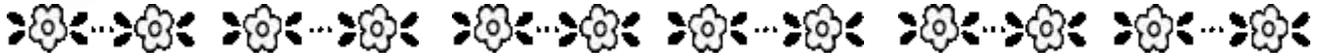
令和4年5月23日

横浜市立三ツ境小学校

学校長 遠山 松雄



三ツ境小だより 6月号



心をつなぐ

副校長 矢島 祥子

1年生の児童一人ひとりが植木鉢に土を入れて朝顔の種を蒔き、花壇の周りに並べています。毎朝、登校してくると朝顔の様子を見に行き、水やりをしています。朝顔は、一週間ほどで発芽し、本葉が出てツルがどんどん伸びています。1年生の教室には、植え付け前に種をよく見て描いた観察カードが掲示してありました。「くろとちやいろがまざってました。」「かたかったです。」「ちいさいたねです。」4月に入学してきた1年生も、日々成長しています。

先日、3年生の社会科の学習で「まちたんけん」に一緒に出かけました。出発前に、担任の先生から「これから住宅の多いところを歩いて行きます。赤ちゃんが寝ていたり、仕事明けでまだ寝ていたりする人もいますので、静かに歩きましょう。」との指導があり、皆、おしゃべりをせず静かに歩いていました。さて、しばらくして一人の児童がすれ違った地域の方に「おはようございます。」とあいさつをしました。周りにいた児童は、とまどいながらその児童をちらっと見ただけでした。その後、公園で運動をしていた年配の方達にも「おはようございます。」と大きめの声であいさつをしました。すると「おはよう。」「お勉強なの。」と笑顔で口々にあいさつを返してくださったのです。あいさつをした児童も笑顔で返事をし、周りにいた児童も何人か会釈を返していました。心と心をつなぎ、人と人との関係を円滑にするコミュニケーションの第一歩は、あいさつなのだ実感した一場面でした。

さて、学校では三ツ境スポーツフェスティバルに向けて、準備や練習に取り組んでいます。今年度も異学年のペア活動を取り入れ、教え合いや学び合いの場面が多く見られました。ペア学年の相手に渡す自己紹介の名刺を作ったり、上級生がリーダーシップをとって団体競技の作戦を考えたりしています。

コミュニケーション力は、人と人との結びつきを高め、思いやりを育み、目標を達成させようと頑張る力になります。子どもたちが、毎日が楽しいと実感できる学校となるよう、コミュニケーション力を計画的に育てることが大切だと考えています。

学校教育目標「つながる 続ける 創り出す」の実現のため、他者とのコミュニケーションを通して、共に社会で生きていく力を育てていく教育活動を全教職員で進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には引き続き本校の教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

スポーツフェスティバルの開催にあたり、貴重なご意見ありがとうございました。児童の学習について、検討をしながら徐々に条件を緩和し、教育活動を行っているところです。感染拡大のリスクを抑制するため、最初にお知らせした通り「1家庭1名の参観」で、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

☆ 引き取り訓練のお知らせ ☆

- 1 日時 令和4年6月21日(火) 14:20~15:10 *雨天決行
- 2 場所 横浜市立三ツ境小学校 校舎内
- 3 ねらい 大規模地震時に児童の安全を確保し、保護者への引き渡しを確実にできるようにする。
- 4 その他 実際に地震が起きたときは引き取りに来られるまで、児童を学校に留め置きします。今回は訓練ですので、引き渡しは15:10までとします。残った児童については、方面別にまとまって下校します。
~詳細については、引き取り訓練のお知らせのプリントをご覧ください。~

専任 吉田より

学校生活に慣れ、各クラスで友達とのかかわりも楽しくなってきた頃でしょうか。毎日のリズムができてくると、生活の仕方を見直す機会をもつことが増えてきます。

毎年この時期に話題に上がるのは「あいさつ」です。一口にあいさつと言っても「おはようございます」から「おやすみなさい」まで、1日に行うあいさつには、たくさんの種類があります。そのひとつひとつのあいさつが、何のために必要なのか。あいさつをするとどんな気持ちになるのか。どんなよいことがあるのか……。学校では子どもたちと一緒に考えることに価値を置き、日々の声かけや支援、指導を行っています。

保護者や地域の皆様には、日々の登下校で見守っていただいておりますが、その際の子どもたちのあいさつはどうでしょうか。マスク生活が続いていますが、子どもたちのあいさつの仕方には、目を見る、会釈するなど、まだまだ改善点が見受けられるかと思えます。まずは、学校内でしっかりとあいさつができるように指導を続けていきます。そして、あいさつに限らず、学校で行動できることを家庭や地域でも自分から行動できる子どもたちになってほしいと願い、支援を続けていきます。

学校と家庭が協力し、同じ方向を見据えて子どもたちに声かけをしていければと思います。保護者のみな様には、登校班へ顔を出す機会がありましたら、ぜひ近所の子どもたちにもお声かけいただきますよう、ご協力をお願いいたします。